

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	鍼灸治療学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	田村 悠	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
これまでで学習した基礎医学を下地に、実際の疾病に対してどのようにアプローチするのかを学ぶことで、鍼灸師としての治療スキルを向上させる。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
講義で得られるのはあくまで知識の部分であり、それを実際の現場レベルで活用するには技術が必要である。学生諸君には、講義で学んだ知識を自習時間に実施する等、技術の向上に励んでもらいたい。						
《履修に当たっての留意点》						
スポーツ障害や腰痛・頭痛・頸肩腕症候群などは実際の現場で遭遇する確率が高く、それだけに数多くの文献や書籍が世に出ている。 本講義で学習する内容を基本とし、様々な治療法を学び、即戦力となる鍼灸師を目指してほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料		各論の頭痛について復習しておく
		各コマにおける授業予定	頭痛の種類と治療について学習する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料		各論の頭痛について復習しておく
		各コマにおける授業予定	頭痛の種類と治療について学習する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料		頸肩腕部の解剖について復習しておく
		各コマにおける授業予定	肩凝りの種類と治療について学習する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料		各論の変形性頸椎症について復習しておく
		各コマにおける授業予定	変形性頸椎症の種類と治療について学習する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料		各論の胸郭出口症候群について復習しておく
		各コマにおける授業予定	胸郭出口症候群の種類と治療について学習する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の肩関節痛について復習しておく
	各コマにおける授業予定	肩関節痛の種類と治療について学習する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の上肢末梢神経障害について復習しておく
	各コマにおける授業予定	上肢末梢神経障害の種類と治療について学習する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の腰痛に関わる疾患について復習しておく
	各コマにおける授業予定	腰椎症の種類と治療について学習する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の腰痛に関わる疾患について復習しておく
	各コマにおける授業予定	腰椎症の種類と治療について学習する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の変形性膝関節症について復習しておく
	各コマにおける授業予定	膝OAの種類と治療について学習する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の肋間神経痛について復習しておく
	各コマにおける授業予定	肋間神経痛の種類と治療について学習する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の後頭神経痛について復習しておく
	各コマにおける授業予定	後頭神経痛の種類と治療について学習する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の顔面神経麻痺について復習しておく
	各コマにおける授業予定	末梢性顔面神経麻痺の種類と治療について学習する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 下記内容の疾患鑑別と鍼灸治療法について説明できる	配布資料	各論の三叉神経痛について復習しておく
	各コマにおける授業予定	三叉神経痛の種類と治療について学習する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容について想起できる	配布資料	これまでの学習内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	総合確認、まとめ		